

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)医療法人社団たかし会 尾鍋	階数	地上7F
建設地	広島県広島市中区平野町6番2、6番	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	394 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2020年5月7日
敷地面積	2,706 m ²	作成者	坪田 彩乃
建築面積	1,551 m ²	確認日	2020年5月8日
延床面積	8,238 m ²	確認者	定森 淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.0

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿化対策」の推進
スコア = 3.2	スコア = 2.1	スコア = 3.1
設計の計画段階に配慮した事項 冷暖房の使用エネルギーのエネルギー量を削減し熱負荷制限に対する取り組みを行っている。///自動水栓の設置により節水に努めている。再利用可能な部材を多く使用し将来的に環境により建築物となっている。グリーン購入法の商品を使用している。/高効率設備の採用等に努めCO ₂ 排出量を削減している。	設計の計画段階に配慮した事項 /十分な駐輪場、駐車場の確保し、多数の出入り口を設けることによって交通負荷の制御をおこなっている。	設計の計画段階に配慮した事項 地震、強風の揺れによって内部設備の性能低下を防ぐため防振対策に努めている。空調、給排水間の長寿化に努めており上位3種はB以上を使用しておりEは不使用。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される